



—先生の研究テーマと内容について教えてください。

私の研究テーマは、国際政治と国際経済との相互作用を分析するなかから、グローバルレベルでの現代社会のありようを捉えることです。国境を前提とするこれまでの国際システムは、国境を越えて自己拡張する世界経済（「グローバル経済」）の前にもどのような変革が迫られているのか、あるいはそれとどう折り合いをつけようとしているのかといった点を「国際政治経済学」の視点から、主に「経済安全保障」をキーワードに研究しています。

—研究を始められるきっかけといえば何でしょうか？

もともと国際情勢や国際関係の動態を理解したいという思いが強かったので国際関係学部を志望したのですが、入学後は想像以上に講義や学習が充実していたので、大学院進学を決めました。これが私の研究者人生のきっかけでした。

テーマについては、実は中学生

## 日本版ジェイソン・ステイサムが今ここに!!

タイトルを見て、ちよとなにを言っているのか理解できないなあとと思う貴方は、とりあえず『フランスポーター』という映画を観てください。

さて、松村ゼミは「応政学」のゼミというところになっていきますが、ゼミ生には研究テーマを自由に決めさせてくれます。ただし、3年生の1年間はみっちり研究の土台を勉強します。先生は、僕達のことを良く見ていてくれて、頑張ったら頑張った分だけしつかり評価してくれます。また、どんな困ったことがあっても先生はとても親身になって相談に乗ってくれます。僕自身、何度も就活や卒論はもろろん、はては人生相談もしたことがあります(笑)。また大の野球好きで、球技大会には「THE野球選手」的な服装で登場し、「人だけ気合いの入りが違いました!」

講義はパワーポイントを駆使し、分かりやすいです。また、学生自身にも考える時間を与えてくれるながら進行するので、講義の内容がとても頭に入ってきてやすいです!

まだまだ書きたいことが沢山あるのですがあととは皆さんがその目で先生の良さを確認してみてください!!

(初代ゼミ長・三木原由規・13年3月卒)

### 《担当講義》

- 政治学
- 国際政治学
- 行政学
- 社会学

### 《研究テーマ》

- 日米の経済安全保障
- 米国の経済政策

### 《プロフィール》

- 出身県:大阪府
- 星座:ふたご座
- 好きな言葉:

人の己を知らざるを患えず、人を知らざるを患う

### 《主な履歴》

- 立命館大学大学院国際関係研究科博士後期課程満期退学
- 立命館大学非常勤講師、国際日本文化研究センター機関研究員を経て2011年度より現職
- 博士(国際関係学)

—学生時代はどのような学生でしたか？

の頃に「軍事オタク」だったことがあるのですが、その時に兵器というものに興味を持ち始めて以降、「なぜ戦争は起こるのか」「どうすれば安全な社会を実現できるのか」という問題に関心を持ち続けてきました。それが今日のようなテーマに行きついたという訳です。

—ゼミではどのような指導をされていますか？

この20年ほどの間に、世の中の変化の速度が急に速くなったと思います。国際関係しかり、企業の栄枯盛衰しかり、そして人の考え方もしかりです。こんな時代では、私たちが「当たり前」と思っていることの賞味期限がどんどん短くなるということを自覚しなければなりません。親世代では「当たり前」だったことが、

されていますか？

この20年ほどの間に、世の中の変化の速度が急に速くなったと思います。国際関係しかり、企業の栄枯盛衰しかり、そして人の考え方もしかりです。こんな時代では、私たちが「当たり前」と思っていることの賞味期限がどんどん短くなるということを自覚しなければなりません。親世代では「当たり前」だったことが、

—趣味はお持ちですか？

趣味は野球、ゴルフ、ミュージカル鑑賞、料理などです。草野球は月に二、三度、わざわざ大阪まで通っています。せうかく海に近い場所に来たのだから、そろそろ海釣りもはじめてみたいなと思っています。近辺でお勧めの釣場があれば教えてください。

—岡山的第一印象はいかがですか？

街はコンパクトながらも必要なものは一通り揃っていると感じています。また交通の要衝に位置するため、どこに行くのも動きやすくて良いですね。道路は広く走りやすいです。ただ、岡山では道を譲っても「ありがとう」との返答がほとんどないのが寂しいです(笑)

## 世の中の「当たり前」を疑おう

現在ではもう「当たり前」でなくなっているといった事例を皆さんはいくつも知っていると思います。常に「当たり前」に挑戦する姿勢、ゼミ生にはこれを修得してほしいと願って指導しています。